

## 平成26年第2回教育委員会会議録

日時：平成26年2月19日（水）

午後2時開会

場所：教育委員会室

### 出席委員

委員長	中 湖 喬
職務代理者	石 井 雅 子
委員	坪 井 守
委員	松 本 昭 彦
教育長	中 野 和 代

### 出席者

教育次長	中 村 光 一
学校教育・人権教育担当理事	山 本 成 之
教育総務担当参事（兼）	
教育総務課長（兼）香良洲教育事務所長	市 川 昭 子
教育総務課教育財産管理担当副参事	
（兼）施設担当副参事	小 林 雅 治
学校教育課長	森 昌 彦
学校教育課保健・給食担当副参事	
（兼）中央学校給食センター所長	土 性 智 樹
学校教育課保健・給食担当副参事	丸 山 美由紀
教育研究支援課長（兼）教育研究所長	荻 原 くるみ
人権教育課長	川 合 陽一郎
生涯学習課長（兼）津城跡整備活用	
推進担当副参事	野 田 剛 史
生涯学習課青少年担当副参事	
（兼）青少年センター所長	中 谷 初 男
生涯学習課公民館事業担当副参事	
（兼）中央公民館長	竹 内 正 巳
安濃教育事務所長（兼）河芸教育事務所長・	
芸濃教育事務所長・美里教育事務所長	竹 村 健
白山教育事務所長（兼）	
一志教育事務所長・美杉教育事務所長	滝 加寿代

中湖委員長 それでは、本日の議案等、概要説明をお願いします。

教育長 本日の議案につきまして、概要を説明します。第3号 津市教育委員会点検・評価について1件の議案について、ご審議をお願いします。詳しい内容につきましては、それぞれの担当課長から説明させていただきますので、よろしくをお願いします。

中湖委員長 本日の議案は、議案第3号の議案1件です。議案第3号につきましては、津市教育委員会会議規則第16条第1項第2号の規定に該当するため非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 異議なし

中湖委員長 それでは、議案第3号につきましては、非公開と決定します。

議案第3号 津市教育委員会点検・評価について

議案第3号 非公開で開催

議案第3号 原案可決

中湖委員長 それでは、議事に入ります。議案第3号 津市教育委員会点検・評価について、事務局より説明をお願いします。

教育総務担当参事

教育総務担当参事 議案第3号「津市教育委員会点検・評価報告書（平成24年度対象）について、説明させていただきます。資料の1ページを御覧ください。この点検・評価報告書は、平成20年4月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、第27条第1項に「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」と規定されました。これに伴いまして、平成19年度から平成23年度まで、毎年度、これまで、5回点検・評価報告書を作成し、公表してきました。今回の平成24年度点検・評価報告書は6回目になります。平成24年度に教育委員会が実施した事務事業を今回の点検・評価の対象として、事業の見直しや今後の事務事業に反映できるよう、教育委員会が取り組んだ内容・評価を明らかにして、作成いたしました。また、第2項には、「教育委員会は、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」と規定されていることから、昨年と同じ3人の学識経験を有する方を選定し、12月と2月に平成24年度の事務事業の説明会を開催し、意見を頂戴しました。なお、3人の方々の御意見は、冊子の73ページから78ページにおいて掲載いたしました。なお、前年度の教育委員会点検・評価におきまして、坪井委員から8ページの教育委員会関係事業について、教育委員会の中身を量ではなく、目標として分かるようにとの御指摘をいただいております。この度、前年度は4番の指標設定のところで開催の数を目標数値に挙げていましたが、平成24年度については、4番の指標に対する実績のところを前回よりも詳しく記載し、5番の推進状況について、具体的に教育委員会の改善内容を記載させていただいております。以上で説明を終わります。御審議のほどよろしく願いいたします。

中湖委員長 ありがとうございます。説明は以上ですが、御質問等ございませんか。

坪井委員

坪井委員 私もこれは2回目になるんですが、25年度の点検・評価かなと思っていたんですが、24年度なんですよね。これを作っていただくのに莫大な時間を事務局の方、費やして、そして自分達教育委員会委員の名前が代表で出ているながら、恥ずかしい話なんです、1年かかってこの評価をどうというのものと

なく、去年はあまり感じなかったんですが、すごく違和感があります。せっかくこうやって作っていただくのに、意見を言うのは申し訳ないんですが、まず基本的に法令で決められているからこうやってやるんだと思いますが、少しこの年度が遅れてしまうとそのことでの今どうかと言われることについては、評価の為のことかと言われてもちょっと仕方ないかなと。でもこれだけ作っていただいたので私達としてはもうありがたいと思いますので、それだけは先に言いたいと思います。でも、ちょっと何か評価を残して議会に出さなければならないからやっているというというふうに違和感を感じるというのが、今回しっかり見させていただいて思う事です。それがまず一点です。それから、細かい事まではちょっと言った方が良いのか言わない方が良いのかちょっと分からないのですが、幾つか付箋があるんですが、これは教育委員会の委員長を含めて5名の者が作ったということになるわけですか。そうすると責任もまた重いので。こういう意識もないまま僕もいたことをちょっと反省です。ということは、またちょっと感じたことを。8ページに今ちょっと昨年私が言った事でこうやって改善していただいたんですけども、進捗状況の最後を読ませていただいて、下から2行目の「また地域に密着した開かれた教育委員会をめざして、委員が地域に出向いて、保護者や関係機関の方々に本市の教育行政に対する意見を伺い、市域の実態把握に努めます。」というの、ちょっとまだ自分としてはここまで言っていて良いのかなというありがたいような効果で書いていただいているんですが、私自身はまだちょっとそんなところまでいっていないという感じがしています。それから11ページこれは、4番の指標設定の所で扇風機を設置していただいたということが書いてあります。効果はどんな。扇風機を設置して子どもたちは本当にありがたいんでしょうか。

教育総務担当参事 暑さ対策として、扇風機を1教室に2台ということで、効果は、扇風機を設置することによって子どもたちもすごしやすいと喜んでいて学校サイドから聞いています。

坪井委員 扇風機の事だけではなくて、その次の段階として、エアコンとかそういう話はまだ出ないんでしょうね。

教育総務担当参事 空調の方を計画をもって図書室、パソコン室に導入しています。しかしながらこの計画もあと2、3年で完了する予定ですのでそれ以降は教室もということを検討していかなければならないと思います。

坪井委員 それから次、20ページの進捗状況の事務局の「学校給食協会におい

ては、良質で安全な物資の供給を行うことができましたが、同協会職員による不正経理問題が起こったことから、協会運営の透明性の確保や適正な会計事務を執行できる体制を整えるよう指導しました。」というのは、これは、我々教育委員会ということでしょうか。主語は。

学校教育課保健・給食担当副参事 学校教育課の保健・給食の担当が給食業務をやっておりますので、教育委員会の学校教育課の方から指導をしたということですね。

坪井委員 していただいているのは分かるので、全体の責任は教育委員会委員の名前が出て、講評的なこういうものは、事務局の方が指導していただいたという形で作ってそれを、教育委員会が見てそうですねというそういう解釈でよろしいですか。この中身は。

教育次長 事務の執行になりますので、その部分については、教育長の指揮監督のもと事務局が執行し、その内容を書かせていただいているということで、それを見ていただいて、評価の全体を承認いただくということです。

坪井委員 事務を一任しているということで、事務局の方にやっていただいた。事務局の方がこういった反省文とか評価をされたものを、それを教育委員会委員がという、そういう見方でよろしいですね。

教育次長 はい。そうです。

坪井委員 分かりました。36ページなんですけど、これは事務局管理事業なんですけど、4番のところの指標設定で、平成24年度指標に対する実績で「経費削減に努めました。」ということで、教育研究支援課の事務が効率的に執行したということで、一見とても良いことだと思うんですが、経費削減したことで逆に大変だったということは、お金をすごく安くしようとかいろいろされたと思うんですが、逆に業務とか大変だったとかそういう事はないんですか。

教育研究支援課長 ICT関係の消耗品費や備品をそれまでの年度にある程度そろえました。24年度には新たにそういったものを購入せずに、24年度としては、それまでに整備した備品やいろんなもので学校へ支援が出来るような体制が出来ていましたので、こういった表現とさせていただきました。返ってそれで困ったというわけではなくて、前年度までにある程度出来たのでという意味でこう

いう書き方になっています。

坪井委員 逆に無理されたのではないのかなと思いましたので。それから、39ページの学校図書館、4番指標設定のところで、24年度「全中学校区への学校図書館司書の配置」等々書いて、「読書好きの子どもが増えました。」と書いてあるんですけども、やっぱりこうした読書の増加と、学力というのが、一方で学力が調査として良くなかったという、ちょっとその辺で、読書を好む子が増えてきたんだけどもというので終わってしまって、学力との絡みはどうかというのが一方的な捉え方かなと感じましたので、感想だけですけれども。それから、40ページ、教育研究推進事業の4番の指標設定24年度「事業を受けた推進校では、積極的な授業公開ができ、参加した他校の参考となりました。」その根拠というのは何かありますか。私も指定校に行かせていただいているいろんな先生が見ていただいている、本当に熱心に見学、授業参加していただいたと思うんですが、それはその場でそういう雰囲気を感じたんですけども、それが学校へ戻った時にどういうふうに還元されたというのは、やはり事務局は何らかの方法でつかんでみえるんですか。こういうふうに言い切るということは。

教育研究支援課長 またこの後でも、25年度の輝きプロジェクト成果発表会のアンケートを報告させていただくんですが、24年度も同様に、輝きプロジェクト事業を推進しまして、その成果発表会を開催しました。その時のアンケート、教育委員会でも報告させていただいたとおり、指導力向上に向けた取組をされた学校の発表を昨年度もされていまして、その辺りのアンケート結果からこのような文言を書かせていただきました。

坪井委員 41ページの特別支援教育支援員配置事業4番指標設定の24年度、「今後も各校からのニーズや」等と書いて、最後「なお、本事業は、国の緊急雇用創出事業の対象から外れたことにより廃止となります。」ということで、終わってしまっているんですね。後の方でこの評価を書いてくださった岡本祐次様が違うものに分散してと書いてあるんですけども、これに代わるものがちょっと分からなかったもので、どういうものなのか。

教育研究支援課長 38ページを御覧ください。表記としては書いてなかったもので、岡本先生にもその場で御説明させていただいたんですが、24年度で緊急雇用の事業が特別支援教育に関してはなくなりましたので、25年度は市費でまるまる9名の支援員さんを増員いただきまして、2千万程予算が3の事業費で増えている部分にこの部分が上乗せされた形になっています。御承知おきください。

表記として表れていなかったので岡本先生にその旨説明させていただきました。  
なお、26年度予算は今から御審議いただくことになるんですけども、各校から子どもたちが急増していますので、支援員の増員をお願いしているところです。

坪井委員 50ページの人権教育関係事業、指標設定のところ、ここもそうですけれども、これはすごく地域の方で定着していて地域の方もすごく私の校区ちょっと見させていただいたら、すごく参加者も多いんです。生徒の人権教育劇というのもすごくいいものを行っているんです。ところがそれがなかなか他の人たちは知らないというか、そういう形で終わってしまっているの、本当にこの取組というのは定着してきて、是非広めていく方策を考えなければならないかなと私は思ったので、是非その辺り、それぞれの校区だけで終わるんじゃなくて、還元してもらえたらなというのはすごく感じました。

人権教育課長 坪井委員から御指摘いただいたように、当課の重要事業といたしまして、人権ネットワークの構築というのが重要なミッションになっています。豊里中学校区には今年初めて地域の方や自治会の方やまたいろんな方が御参加いただいて、素晴らしい人権に関するフェスティバルを開催していただきました。これにつきましては、各中学校区にも人権ネットを張っていく上では非常に参考になる事例でしたので、改めてまたいろんな場で紹介していきたいと考えています。以上です。

坪井委員 57ページの放課後児童健全育成事業ですが、これは現実に指導者の育成とかそういう運営に大変困っているという問題はいくつかあると思うんですが、そういう事も含めた事業効果ではないのでしょうか。実際に指導者をどう育てるかという課題があると思うんですが。

生涯学習課青少年担当副参事 今御指摘いただきました指導者の資質向上の件、それから運営に関するいわゆる保護者の会、運営委員会の意識の部分につきましてもいろいろ問題も起きております。青少年センターとしてもその支援をしていくということもありまして、運営面への支援とともに生涯学習課が予算を付けて指導者研修会をするというそういった部分の支援も含めて事業をしております。その中で特にこの部分につきましては、53小学校区の中で、未設置小学校区への広がりという事も含めて、施設数の増ということを指標にしております。そういう運営の補助も必要であるけれども、まだ設立されていない校区への設置ということの一つの指標として評価するというようにしています。

坪井委員 すみません。いろんなことを聞いて。そうやってお話させていただいて膨らませていただけたらと思って質問させていただいています。それから71ページの図書館活動事業ですけれども、もうこの評価のとおりだと僕は思っていますが、新聞でもけっこう津市の図書館というのを頑張っているなというのを知るわけなんですけれども、ああいったPRをもっとどんどんしていただいて、図書館で本当によくやっていただいていると思いますので、それを是非宜しくお願ひしたいなと思います。それからちょっと戻りますが27ページで、私立幼稚園設置者及び津市私立幼稚園協会等々で4・5歳児に、私もちょっと関わっているので、7,200円の補助金を出していただいているんですけれども、とても助かっているとは思いますが。ただこれは最後の進捗状況で、それを出しているから「公・私立幼稚園間の保護者負担の格差の是正を図ることができました。」というんですけれども、これはまだそういう段階ではないと思うんです。これは中から見たら分かってくれても、よそから見たら怒ってくる話です。就園奨励費とかそういう問題がもっと絡んできますので、こういう形で書いてしまうとどうかなと。だいぶ是正に近付いてきたということじゃないかと思います。最後、73ページの岡本先生が書かれたこの評価が一番納得出来るなということで、すごく津市の教育委員会の事務局がされたことを的確に評価、良い面も含めてしていただいていると。それが良かったと思いますので、皆さんもしっかり見ていただければと思います。

中湖委員長 他にございませんか。

松本委員 全体で少し質問というか感想なんですけど、22年度から箇所をつくっていただいて、途中から終末というかこれはもう終了したみたいなものがほとんどなくて、事務仕事が増え続けていくような感じがするんですけれども。何年間かのプログラムという感じで、どこかの時点で一度見直して、この事業はもう別の形にしようとか、集約して一つにするというふうに枠組みを見直して、多少修正して、別の所に振り向けるというそういう作業というのはされるものなんでしょうか。

教育総務担当参事 平成23年度には事業として、小学校統合フォローアップ事業というのがございました。それについてはもう23年度に芸濃地域の小学校統合に向けた新規事業に基づいて24年度には事務の整理をさせていただいて今回は評価をさせていただいています。そのような中で、確かに事業の見直し関係がありまして、その年度に新たに発生するもの、廃止していくものというものはあると思います。

松本委員 個別にこれが出来たり、これがなくなったり終了したりということがあると。全体を見直すというのは。

教育総務担当参事 こちらは予算、総合計画等々の位置づけに基づきまして、成り立っているということもありますので。

教育研究支援課長 実は22、23、24、25と輝きプロジェクト事業というのを実施してきましたので、大きな変更は無かったかと思うんですが、本年度から来年度にかけては小中一貫教育を本格実施していく年でありますので、大きく小中一貫教育を推進するという視点での事業組み直しというか予算の大きな枠組みを変えるような方向になっていきますので、来年度はそれが出てきます。

松本委員 評価書のフォーマットとしてこういうふうに同じのが続いているように見えるけれども、事業としては組み直されているということでしょうか。

教育研究支援課長 そうです。来年度に向けて。

学校教育・人権教育担当理事 来年度組み直すんですけれども、これをつくるのは再来年度なので、今の状態ですとちょっとどうかなと僕も感じていますので。とは言えこれを変えることも出来ないかなということも思ったりしますので、事業評価の評価になって。ただ中身としては参考になる御意見も多々いただいていますので、今日は委員さん方から。それで、もっと有効に活用できるように、年度に生かせるような形に出来るといいのになと、次回からそのように感じました。とは言え変える事ができないので。

坪井委員 その3人の方に、中間的に見ていただく。学校を見ていただくとか、そういう事をしていただいて、その都度ちょっと御意見をいただく。まとめて、最後にぼんとではなくて。四日市はそんなことをやっていましたね。年に3回か4回評価委員さんが出席するんです。そこで評価を出すわけです。それをもとに事務局はある程度用意しておくとか。

中湖委員長 他によろしいですか。

石井委員 委員長よろしいですか。

中湖委員長 石井委員。

石井委員 その1年違うということで、今回の成人式を見て言わせていただくんですが、60ページの成人式関係事業の24年度の最後の進捗状況の一番最後のところに、「今後も継続させていただきますが、式の簡素化についても検討していきます。」ということをおまえて25年度の成人式は簡素化よりもより一層成人のための成人式になっていたのではないかなと思いましたので、この言葉だけが、簡素化という言葉だけが少しひっかかりましたので。

中湖委員長 よろしいか。今、坪井委員からお話があつて重なってくるんじゃないかと思いますが、この点検・評価報告書というのは、作成については様式というのは文部科学省からこれにちなさいというような様式があるんですか。

教育総務担当参事 様式の方は行政経営課の方で事務事業評価の様式を使わせていただいて、23年度からこの様式を使っています。

中湖委員長 というと、各平成24年度の事業評価ということで項目というか標題というか、私はこう読むのに実状報告のような感じがしてならないんです。もう少し、私は書式の下にでも書いてもらったところで各ページの下に推進状況と書いてありますけれども、その下に「評価」ぐらいの各項目で書いても大体これがどうというのもこれくらいでも分かると思うんですが、評価ぐらい書いてもらったらどうかなと思いました。それから、先程事業点検評価をするということ、これは一番大事な事は何かということやはり、いろいろな課題を見つけ出す、見出す、問題を提示する、そしてその課題があれば来年、再来年に向かっていかに改善していくかというのが一番大事だと私は思います。ですからそれがないと、自己点検評価という意味を成さないのではないかと、そんなふうに思いました。それと関連して、大田先生それから岡本先生等々3名の方に評価してもらっていますが、やはりこの方達を見ても、身内の方ですので、なかなか思い切った意見とか内容をおっしゃりにくいかなという気がして仕方がないんです。なかなか思うような、実際思った事を、課題を述べられていないような感じがするんですが。あまり関係しない人達の意見を述べてもらったらどうかなと、そんな感じがしました。他の方に評価してもらおう。思いきって、それはもう出来ないと思いますが、鈴鹿の教育長なりあるいは鳥羽の教育長なりに一度見てくださいますと。何かあったら思い付きで書いてくださいますと。そういうくらいの事でもしないと、良い事ばかり評価されていても意味がないような気がします。

教育総務担当参事 学識経験者の方の御意見の中で、委員長がおっしゃられるように今後どのような方を選ばせていただけたらいいか検討させていただきたいと思います。

中湖委員長 岡本先生も、大田先生も思い切ったことをいろいろ言われる方ですけども、これを見ている限り、遠慮してみえる様に思います。

中湖委員長 他にございませんか。

各委員 異議なし。

中湖委員長 それでは、議案第3号 津市教育委員会点検・評価について、原案どおり承認する事としてよろしいですか。

各委員 異議なし。

中湖委員長 御異議ないようですので、議案第3号 津市教育委員会点検・評価について、原案どおり承認する事とします。